

ライチ ヨウ野生復帰大作戦

― 令和6・7年度の取り組み ―

令和8年度

市立大町山岳博物館

企画展

会 期：令和8年 9月19日(土)～12月20日(日)

9～11月 午前 9時～午後5時

12月から 午前10時～午後4時

休館日： 9月24日(木)、28日(月)、

10月 5日(月)、13日(火)、19日(月)、26日(月)、

11月 4日(水)、9日(月)、16日(月)、24日(火)、30日(月)、

12月 7日(月)、14日(月)

場 所：市立大町山岳博物館 特別展示室

入館料：大人450円 高校生350円 小・中学生200円

※常設展示と共通、30名様以上の団体は各50円割引
その他の各種割引については窓口にお問い合わせください

主 催：市立大町山岳博物館

後 援：信越自然環境事務所、公益社団法人日本動物園水族館協会

山岳博物館では、付属園で1963(昭和38)年からライチョウの飼育を開始しました。当初から野生復帰に向けた飼育技術の開発を目的の一つとしていましたが、61年もの間、野生復帰には至っていませんでした。

2013(平成25)年、乗鞍岳でのケージ保護で、野生の雛が母鳥の盲腸糞を食べる様子が確認されたことをきっかけに、「高山植物を消化するために必要な腸内細菌」が母鳥から雛へ継承されていることが明らかとなりました。さらに、母鳥の体内で増えた「野生のライチョウの消化管に寄生するアイメリア原虫」に雛が感染するものの、ある程度防御機構が備わっている可能性があることも判明しました。野生復帰には、飼育下のライチョウをこうした野生の状態に近づけ、野生ライチョウや生息環境への悪影響を防ぐ必要があると考えられました。

そこで、研究者らは野生復帰に必要な研究や技術開発を進め、日本動物園水族館協会(JAZA)加盟飼育施設がその技術を導入。関係機関が連携しながら中央アルプスへ野生復帰できる個体の創出を試みました。このような取組の結果、2024・2025(令和6・7)年度に日本で初めて、飼育下のライチョウを人工繁殖し、中央アルプスへ野生復帰するまでに至りました。

本展では、環境省が主導した2024・2025(令和6・7)年度の中央アルプスにおけるライチョウの野生復帰事業について、大学研究機関による研究と、2年間で計8羽の雛を放鳥した当館の取組を中心に、雛が放鳥されるまでの道のりを紹介します。ぜひご覧ください。

企画展関連催しご案内

■ 企画展記念講演会

期 日：10月10日(土) 午後1時～午後4時30分

会 場：サン・アルプス大町

講 師：環境省 信越自然環境事務所 生息地保護連携専門官 福田真さん、中部大学環境生物科学科 准教授 土田さやかさん

対 象：どなたでも・無料

申し込み：参加ご希望の方は Email・FAX・電話、または直接当館へお申し込みください。お申し込みの際はお名前、ご住所、ご連絡先お電話番号をお知らせください。

■ ミュージアムガイド・ライチョウ観察会

期 日：10月11日(日) 10時～・14時～

12月6日(日) 10時～・14時～

会 場：山岳博物館特別展示室及び付属園

申し込み：不要・通常の入館料が必要です。

企画展の主な執筆者



福田 真 Makoto Fukuda

環境省 信越自然環境事務所 野生生物課 生息地保護連携専門官。ライチョウ保護増殖事業等の業務を担う。本展では野生復帰事業の概要とこれからについて執筆。



牛田 一成 Kazunari Ushida

NPO法人希少動物種保全科学研究所 センター理事長。中部大学名誉教授。2014年よりライチョウの腸内細菌叢の研究に取り組む。本展では腸内細菌について執筆。



土田 さやか Sayaka Tsuchida

中部大学 環境生物科学科 野生動物微生物学・栄養生化学研究室 准教授。2014年よりライチョウの腸内細菌叢の研究に取り組む。本展では腸内細菌について執筆。



松林 誠 Makoto Matsubayashi

大阪公立大学大学院 獣医免疫学教室 教授。2016年より牛田氏とともにライチョウのアイメリア原虫の研究に取り組む。本展ではアイメリア原虫について執筆。



岡本 真緒 Mao Okamoto

市立大町山岳博物館 動物担当の学芸員。2024年からライチョウの業務を担当。本展では山岳博物館で行った繁殖について執筆。



中村 浩志 Hiroshi Nakamura

信州大学名誉教授。2024年度に「中央アルプスにおけるライチョウ個体群復活プロジェクトの推進」の業績により秩父宮記念山岳賞を受賞。本展では生息地編の順化と放鳥について執筆。



【交通のご案内】

JR 大糸線・信濃大町駅から
タクシー 5分 徒歩 25分
長野自動車道・安曇野 IC から 約 40分
北陸自動車道・糸魚川 IC から 約 95分
上越自動車道・長野 IC から 約 80分

